

A practical care guide for public health nurses responding to Article 24 notifications

前野, 有佳里

<https://doi.org/10.15017/1441071>

出版情報 : 九州大学, 2013, 博士 (看護学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : 全文ファイル公表済

氏 名： 前野 有佳里

論文題名： A practical care guide for public health nurses responding to
Article 24 notifications

(24条通報対応における保健師のケア実践行動指標の開発)

区 分： 甲

論 文 内 容 の 要 旨

目的

精神保健福祉法第 24 条による警察官通報の対応において保健師に必要とされるケアを実践するための行動指標を開発し、その信頼性・妥当性を検証をすることを目的とした。

方法

インタビューから質的帰納的に整理した指標原案について、専門家に内容妥当性の検討を依頼して修正した 55 項目の指標案について、東北 3 県を除いた全保健所の 24 条通報対応担当保健師に対して自記式質問紙調査を行った。

結果

542 通の回収が得られ、432 通を分析に用いた(有効回収率 51.3%)。

項目分析の結果 5 項目を削除し、主成分分析を行った上で、主因子法、プロマックス回転による探索的因子分析の結果、31 項目 5 因子が抽出された。5 因子は【危機状況の評価と対象者が落ち着きを取り戻すためのケア】【不安を軽減し、安全に措置診察へ向かうためのケア】【保護を機会ととらえ今後の介入の足がかりをつくるケア】【対象者が家族の一員であり続けるためのケア】【措置診察の要否に必要な情報を見極めた客観的データの収集】と命名した。また、共分散構造分析による検証的因子分析を実施した結果、探索的因子分析で得られた仮設モデルの適合度が確認された。指標の信頼性については、Cronbach's α 係数 0.95 (下位因子 0.88~0.91) で内的整合性、Test-Retest 法による信頼性係数 0.86 で安定性が確認された。妥当性の検討として、基準関連妥当性については、対象者・家族との関わりへの影響、通報対応への自信との相関をみたところ、有意な正の相関($p < 0.01$)を示した。構成概念妥当性については、既知グループ法で、精神保健担当経験別、通報対応担当経験別のいずれも、経験年数が長い群ほど指標得点が高かった。

結論

開発した指標は 24 条通報対応における保健師に必要なケアを実践するための行動指標としての信頼性・妥当性を有すると考えられた。